

平成31年度 京都市教育予算（案）

【予算規模】

項目	31年度	30年度	増△減	前年比
教育費	1093億7900万円	1094億5600万円	△7700万円	△0.1%
内訳	学校・事務局等運営費	161億8005万円	+16億4563万円	+11.3%
	建物等施設整備費	140億4995万円	△10億4163万円	△6.9%
	人件費	791億4900万円	798億3000万円	△6億8100万円

【事業概要ごとの予算】

項目	31年度	30年度	増△減	前年比
学習指導の充実 (3～6ページ)	114億6848万円	114億5156万円	+1692万円	+0.1%
児童・生徒の健全育成 (7～9ページ)	15億2114万円	14億1272万円	+1億842万円	+7.7%
高等学校教育の充実 (9ページ)	5億4196万円	5億4830万円	△634万円	△1.2%
幼児教育の振興 (9ページ)	1億7653万円	1億8080万円	△427万円	△2.4%
教育環境の整備充実 (9～10ページ)	132億7511万円	142億7209万円	△9億9698万円	△7.0%
生涯学習の推進 (10～11ページ)	21億8494万円	21億886万円	+7608万円	+3.6%

【予算の特色】

平成31年度京都市教育予算は、極めて厳しい財政状況の下で、すべての事業経費をゼロベースから見直すとともに、国基準を上回る少人数教育の実施など、引き続き教育環境の充実に取り組む経費や教員の働き方改革など喫緊の課題にも対応する経費など、市政の基本計画である「はばたけ未来へ！京^{みやこ}プラン」に掲げた京都の未来像を着実に実現するための経費に、財源が重点配分された。

教育委員会では、この予算を最大限活用し「一人一人の子どもを徹底的に大切に
する」教育理念の下、経済状況や家庭環境にかかわらず、全ての子どもに「確かな
学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の更なる充実に向け、市民の皆様と
共に汗する「共汗^{きょうかん}」で、全国をリードする教育改革をより一層強力に推進する。

具体的には、

- 独自予算による小・中学校における少人数学級の継続、小中一貫学習支援プログラム、放課後・学力ステップアップ事業、土曜学習等による学力向上、
 - しなやかな道徳教育総合実践推進事業や文化庁移転を見据えた伝統文化体験活動の一層の充実等による豊かな人間性の育成、
 - 学校給食における「和食」の充実や子どもの体力向上「ジャンプアップ・プロジェクト」等による「健全でたくましい子ども」の育成
などに引き続き取り組む。また、
 - 高校における通級指導の拡大や総合育成支援員の配置充実など障害のある子どもへの教育の推進
 - 「いじめの防止等に関する条例」の実践やスクールカウンセラーの拡充、全中学校区へのスクールソーシャルワーカーの配置拡大等によるいじめ・不登校対策
 - 学校運営協議会設置校の拡大などの開かれた学校づくり
 - 市立高校かがやきプランの実施など魅力あふれる高校づくり
 - 校務支援員や部活動指導員の配置拡大による教員の働き方改革
 - 予約管理システムの導入による中学校給食の更なる利便性の向上
- など全国的な課題への対応や京都ならではの取組を推進する。

さらに、日々の学びを支える学校施設について、環境にやさしく、防災機能を高める改築・改修のほか、トイレ洋式化や学校図書館の環境整備など、全市的な学習環境の充実を展開する。

また、「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、まち全体を学びの場とすることで、あらゆる世代の方が自ら生涯を通じて学び、その学びをまちづくり、地域、子どもたちのために活かすことのできる生涯学習のまちづくりを進めるとともに、次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むため、「京都はぐくみ憲章（子どもを共に育む京都市民憲章）」の実践に向けた取組を推進する。

【事業概要】

単位:千円

右端()内は
30年度予算額

1 学習指導の充実 ～確かな学力の向上を目指して～

11,468,488 (11,451,561)

(1) 新学力向上アクションプラン推進

8,946,044 (9,016,198)

①国基準を上回る教職員配置による少人数教育等の推進

市独自予算による「小学校2年生における35人学級」「中学校3年生における30人学級」実施など
少人数教育の推進

指導充実に向けたチーム・ティーチング実施, 小・中学校における少人数教育充実のための教員
配置, 中学校における習熟度別授業充実のための教員配置など

②京まなびプロジェクト推進

小・中学校全校で「学力向上プラン」作成

小・中学生の自学自習を支援する「京都市小中一貫学習支援プログラム」

子どもたちの自学自習の習慣化・学力向上に向け, 既習事項について

「予習→テスト形式での確認→復習」を1サイクルとした小3～中3までの全15回のプログラム

独自の分析システムなどによる各種学力調査の結果等の分析・活用

プロジェクトチームが学力向上の取組を推進する中学校ブロックを訪問し,

重点的に支援する「学力向上実践推進事業」

新③小学校・中学校教科書採択[35,233]

小学校における新学習指導要領に基づく教科書採択と教育課程指導計画(京都市スタンダード)
の改訂, 新たな時代に必要となる資質・能力の育成に向けたプログラミング教育・消費者教育等の
新学習指導要領における新たな教育課題に係る各種スタンダード等の作成

④新学習指導要領実施に向けた実践研究

新学習指導要領の全面实施に向けた指導方法・指導体制の実践的研究の推進

⑤指導内容の充実

専科指導の推進～スクール・サポーターの配置

音楽・図工・体育等の専門教科の免許を持つ指導教員を全小学校に配置

校内LAN・デジタルテレビ等ICT機器の全校での活用

⑥校区の状況に応じた小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した, 計画的・系統的な教育の推進

「京都市小中一貫教育ガイドライン(試案)」を基にした, 各中学校区ごとの具体的な実践

⑦放課後等における学習支援の実施

全ての子どもたちの学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため, 地域ボランティアや教員志望の
学生, 退職教員等の協力のもと, 放課後の学習をサポートする「未来スタディ・サポート教室」の
全中学校での実施や全小・中学校での土曜学習の実施など

⑧産学公連携推進事業

京都大学との連携事業

京都大学ジュニアキャンパス共催など

京都芸術教育コンソーシアム事業

大学と小中学校が連携し, それぞれの資源を生かした芸術教育の推進など

⑨「学生ボランティア」学校サポート事業

120の大学等との連携による学生の学校教育活動へのサポート体制充実

(2) 教職員の資質・指導力向上と働き方改革

471,065 (358,431)

①ミドルリーダー教職員養成総合実践推進事業

[再掲66,495]

各校でミドルリーダーを核としたOJTの推進, 「京・教育研究・研修マイスター」を委嘱し,
研修・研究の中心となって活動, 「ミドルリーダー養成講座」などの実施

②全教職員を対象にした教職員評価システムの実施

教職員自身による目標設定とその達成状況の自己評価, 評価者(管理職)による評価

③カリキュラム開発支援センターの充実

平日朝9時～夜9時まで, 土曜も開館, 教職員の自主的な研修・研究活動を支援

④総合教材ポータルサイトによる教育情報発信事業

総合教育センターで実施した研修や優れた授業等, 学校内での研修等に活用できる映像研修資料と, 授業で活用できる教材などを配信

⑤「京都教師塾」運営

教師を目指す学生や社会人を対象とし, 学校実地研修や授業演習などを実施

新⑥「学校・幼稚園における働き方改革」推進のための環境整備[233,600]

教員の事務的な業務をサポートする校務支援員の配置を倍増

教員の更なる負担軽減につなげるための部活動指導員の配置を倍増

授業や事務等の多様な校務を担う教務主任補佐(非常勤講師)の配置

小学校における専科教育推進のための教員配置<再掲(1)⑤指導内容の充実>

中学校給食における予約管理システムの導入

学校・幼稚園のホームページ作成システム機能追加(校外からも内容を更新できるように改修)

高等学校での教員用デジタル教科書の導入

パソコンを活用したバーコード方式による出退勤管理システムの運用

各教科・領域別研修, 初任者研修・10年目研修, 小学校外国語(英語)教育・道徳教育・総合育成支援教育・伝統文化・タブレット端末等のICT活用の充実等に向けた研修, 教育実践功績表彰 など

(3) 市民との共汗で進める開かれた学校づくり

26,823 (27,971)

①「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」活動充実・設置拡大

ボランティアの参画を進める京都方式での「学校運営協議会」の活動充実・設置拡大(31年1月末現在全国最多の242校園[市立学校園の約9割]に設置)

②学校評価の推進による学校運営の改善

学校・家庭・地域が相互に高めあう「京都方式」の学校評価システムの推進

(4) 社会的・職業的自立に向けた「生き方探究教育(キャリア教育)」の推進

90,688 (85,945)

①「京都まなびの街生き方探究館」での学習

産学公連携の下, 生き方探究教育推進のため, 企業・市民のボランティア等の参画を得て運営

スチューデントシティ・ファイナンスパーク学習

施設内に再現した実際の「街」での職業体験・生活設計体験学習を通して

社会の仕組みや経済の働きを学び, 社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育む

京都モノづくりの殿堂・工房学習

「京都モノづくりの殿堂・工房」での展示・体験活動を通して, 自身の将来や夢について考えを深める機会を創出

②「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業

全市立中学校と総合支援学校の生徒約10,000人が約3,500の事業所で職場体験, 勤労体験を実施

③京少年少女モノづくり倶楽部

企業・大学等の協力を得て, 小・中学生がモノづくりへの興味・関心を高める体験の場を創出し, 市内各所で実施されているモノづくり講座等の情報を提供

(5) 子どもたちによる国際文化観光都市・京都の魅力発信事業

411,058 (396,701)
[再掲293,559]

～2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて～
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて,
京都に来られた方に満足いただける京都ならではの「おもてなし」の実践

①子どもたちが京都を「知る」取組

「歴史都市・京都」に対する理解を高め、実際に体験し、それらを尊重する態度の育成に向けた伝統文化教育の充実、「京都・観光文化検定試験3級」の受験促進

②子どもたちが京都を「伝える」取組

海外からの観光客をはじめ外国人に対して英語により「おもてなし」を実践することができる、国際観光文化都市・京都ならではの人材の育成、イングリッシュシャワーの全小・中学校実施、実用英語検定「英検」の受験促進、民間検定試験の結果等の分析を踏まえた授業改善等

(6) 文化庁移転に向けた伝統文化教育の充実

75,307 (71,517)

[再掲75,056]

①学校での伝統文化体験活動の充実

新 伝統文化の次代の担い手を育む機会の創出に向けて、小・中学校すべての子どもを対象に茶道(小学校)・華道(中学校)体験活動を実施[10,100]

②市立高校における茶道を中心としたおもてなし事業

市立高校生徒を対象とし、茶道を中心とした伝統文化体験事業を実施

③文化庁等と連携した小学校における伝統文化体験の推進

学校教育における伝統文化に関する授業と社会教育における伝統文化体験活動を関連づけながらより深く伝統文化を体験・習得できる課外での取組を推進

地域等と連携し、学校教育活動として伝統文化体験を行う『京の子ども「かがやき」創造事業』を実施

④歴史都市・京都から学ぶ「ジュニア京都検定」(基礎・発展・名人コース)

市民ぐるみで、京都に息づく日本の文化、伝統を子どもたちに引き継ぐため、「みやこ子ども土曜塾」等とも連携し、「知識」と「体験」の一体化を図る

古典の日法制化を契機とした取組の充実、京都創生策と連動した伝統文化教育の推進、茶道等の伝統文化に関する部活動充実、地域人材や専門家等と連携した取組の展開 など

(7) 英語教育の充実

297,604 (273,827)

[再掲297,604]

新 英語教育充実のためのALT(外国語指導助手)配置拡大[19,700]

新学習指導要領における小学校外国語(英語)の早期化・教科化への対応等

英語教育充実に向けた京英語スタンダードの効果的な実践

豊かなコミュニケーション能力、幅広い教養等を持ち合わせたグローバル人材の育成、高校英語4技能(読む、聞く、話す、書く)にかかる実践的英語力測定調査事業 など

(8) 障害のある幼児・児童・生徒の教育の充実

592,602 (540,354)

①LD等支援の必要な子どもたちへの支援・教職員の専門性の向上

就学支援シートの活用・充実、総合育成支援員の配置拡大、総合育成支援教育の中核となる専門性を持った教員の育成 など

新 ②障害のある児童・生徒に対するきめ細やかな教育体制の構築[27,000]

高校における「通級による指導」の拡充、医療的ケアが必要な児童生徒への支援体制・入院している児童生徒等への教育保障体制の充実

「手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」の普及・促進、総合支援学校スクールバス運営、総合支援学校デュアルシステム(職業学科生徒の進路開拓に向けた企業との連携)、総合育成支援

教育ボランティア養成・参画、育支援センター(総合育成支援教育相談センター)における早期からの相談と支援の実施、育成学級・通級指導教室見学会「出会いとふれあいのオープンスペース」 など

～言語活動の充実・コミュニケーション能力の育成に向けて～

(9) 国語力・読解力向上総合推進事業

201,706 (214,610)

新 ①「第4次京都市子ども読書活動推進計画」の実践[900]

幼児向けブックリストの配布、高校生の読書活動振興のため市立高校と京都市図書館の連携子ども読書の指南役となる「子どもの本コンシェルジュ」の養成、中高生へのおすすめの本を集めたティーンズコーナーの充実

②学校図書館活用促進事業

学校司書配置事業の充実

全小・中・支援学校に配置する学校司書の配置日数の計画的拡大

みやこ^{そまぎ}杉木使用の学校図書館備品整備

朝読書の小・中学校全校実施、目指せ100冊！読書マラソン運動、市立図書館との連携による児童生徒の読書活動の推進、新聞を活用した教育の推進 など

(10) 理科・環境教育の充実

75,825 (91,434)

①学校における観察・実験活動の促進

教員研修(観察実験講座)の充実や観察・実験活動の支援員派遣、教材・教具の整備充実など

②青少年科学センターにおけるセンター学習

実験室学習・展示学習・プラネタリウム学習により、科学の不思議や楽しさを感じてもらい、科学者精神にふれてもらうことを目的とした理科学習の実施

③京都市環境教育スタンダードの実践

教科等を超えた横断的・総合的な取組として環境教育を推進

④京都宣言や「Do You Kyoto?」の精神を活かした取組の推進

全校で「環境宣言」策定・実践、子ども版環境家計簿「こどもエコライフチャレンジ」の推進、全小・中・総合支援学校でのKES学校版「環境にやさしい学校」認証取得推進など

青少年科学センターにおける科学地球儀の展示

節水機器・電力監視測定器の全校・園での運用

太陽光発電システムの設置拡大、「緑のカーテン」、校庭芝生化の推進

雨水貯留タンク活用、給食牛乳紙バック再生「めぐれっとペーパー」 など

(11) ICT環境の充実

1,599,704 (1,658,011)

[再掲649,092]

①校務事務電算化システムによる事務効率化

教職員の多様な働き方の実現などによる更なる負担軽減を推進

②コンピュータ教室・校内LAN・デジタルテレビ等ICT機器の全校での活用

コンピュータなどの情報手段を活用するために必要な環境の整備 など

(12) 国際化に対応した教育の推進

61,868 (73,262)

①留学生による学校活動支援事業

日本語指導が必要な児童・生徒への母語支援活動や、多文化学習推進プログラムにおいて、留学生の参加を促進

②多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実

(日本語指導トータルサポートシステム・日本語指導担当者指導力向上プログラム等)

日本語指導が必要な児童生徒のための指導者派遣や日本語指導ボランティアの派遣など

新 来日直後の日本語指導が必要な子どもたちへの日本語指導ボランティアによる指導充実[1,500]

日本語指導者の指導力向上を図る取組の充実

③土曜コリア教室、民族の文化にふれる集い など

2 児童・生徒の健全育成

～子どもたちの光り輝く笑顔のために～

1,521,137 (1,412,721)

(1) いじめ・不登校対策など生徒指導・教育相談の充実

537,635 (471,557)

①「いじめの防止等に関する条例」の実践・普及啓発

平成26年10月に「いじめの防止等に関する条例」を施行し、条例の更なる普及啓発を進めるとともに、条例に基づき策定した「いじめの防止等取組指針(平成29年改訂)」に沿った取組を実践する

②スクールカウンセラー配置時間数の計画的な拡大

全校配置しているスクールカウンセラーの配置時間数を拡大し、いじめ・不登校をはじめ、子どもの課題の早期発見、早期対応や予防的な取組をさらに推進する

③スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置拡大

子ども・家庭への総合的な支援の充実に向け、教育分野のみならず、社会福祉等の知識や技術を用いて児童生徒の課題解決や児童相談所等関係機関とのネットワークの活用と連携強化などを図る当初の計画を1年前倒しし、平成31年度中に全中学校区に配置

④いじめ・不登校対策に関する取組の実践

クラスマネジメントシート活用、こども相談24時間ホットライン(年中無休・24時間対応の電話相談)、SNSを活用した相談窓口の設置、ICTを活用した不登校生徒の学習支援、不登校・問題行動等児童生徒を対象とする体験活動「啾啄21・絆」、フリースクール等との連携充実、学びのパートナー・洛風パル・洛友パルなど学生ボランティアの配置など

⑤不登校を経験した生徒のための中学校運営

不登校生徒の学習支援を目的とした「洛風中学校」
形式卒業者の受入れや二部(夜間)学級生徒と不登校生徒がともに学ぶ「洛友中学校」

⑥教育相談総合センター(こどもパトナ)運営

教育相談(カウンセリング)、生徒指導、不登校児童・生徒の活動の場「ふれあいの杜」の一体化「ふれあいの杜」学習室運営(市内6箇所)

⑦生徒指導の充実

非行防止教室の全小・中・高等学校での実施 など
府市協調による学校非公式サイト等のネット監視業務など携帯電話・インターネットの危険性等から子どもを守る取組、地域生徒指導連絡協議会 など

(2) 「しなやかな道徳教育」総合実践推進事業

9,060 (19,940)

各中学校ブロックごとの小中一貫した道徳教育の取組、指導方法に関する実践研究、京都ならではの教材・指導資料の開発、道徳教育スタンダードの作成、道徳教育推進教師に対する悉皆研修、保護者・地域への道徳授業の公開など

子どもの規範意識を育む取組の展開

児童・生徒の連携のもと実施する京都市こども未来会議(中学校生徒会サミット・京(みやこ)キッズ会議)の開催
非行防止教室など問題行動の未然防止に向けた京都府警との連携充実 など

京都市独自の指導資料集「夢いっぱい」(小学校)・「心の旅」(中学校)や、本市独自の道徳科「授業の手引」や評価のあり方に関する冊子を活用した授業の展開

(3) 長期宿泊・自然体験推進事業 全小学校実施

17,511 (17,211)

原則小学校5年生で花背山の家等において長期宿泊・自然体験活動
仲間意識や責任感、他人に共感する心や規範意識など豊かな人間性を育む

(4) 学校安全教育の推進と地域ぐるみの子ども安全対策の推進

18,783 (22,472)

①学校安全・防災教育の推進

研究指定(セーフスクール)校による実践研究、安全ノートの活用
京都市防災教育スタンダードの活用や緊急地震速報受信端末を活用した避難訓練の実施

②地域ぐるみの安全対策の推進

児童の登下校の安全を守る約2万人の学校安全ボランティア(見守り隊)による見守り活動、スクールガードリーダーによる見守り活動への指導・助言
学校安全ボランティア(見守り隊)の研修と次世代のリーダー育成

③自転車交通安全教育の推進

中学校における独自教材を活用した指導の充実など、平成22年11月公布の「京都市自転車安心安全条例」に掲げられた取組の推進

④水泳指導における安全管理の徹底

「小学校における水泳指導の手引」と「小学校の水泳指導における安全管理指針」の改訂を行うとともに、「プール事故第三者調査委員会報告書」も踏まえ、組織的な安全管理を徹底

(5) 食育の充実 360,289 (319,997)

～無形文化遺産の未来への継承～

① 京都をつなぐ無形文化遺産「京の食文化」普及・啓発事業

「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、「京の食文化一大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味」の普及・啓発

知産知消(地産地消)の取組推進, 日本料理アカデミーと連携した日本料理に学ぶ食育カリキュラム, 司厨士協会による中学校出前授業, 京都市中央卸売市場協会による小学校出前板さん教室 など

② 学校給食における「和食」の充実

スチームコンベクションオープン型の全小学校への計画的な導入

新③ 中学校における食育の推進と給食の充実[38,300]

研究校での中学校給食を活用した食育の授業や, 指導主事(栄養士)を派遣する等により中学校における食育を一層推進

中学校給食における予約管理システムの導入

<再掲1(2)⑥「学校・幼稚園における働き方改革」推進のための環境整備>

(6) 健康教育・子どもの体力向上推進 213,411 (178,206)

① 全小学校でのむし歯予防のためのフッ化物洗口実施

② 保健教育・薬物指導の推進

性に関する指導の充実, 薬物乱用防止教室の全小・中・高校での実施

③ 小・中・高運動部活動

子どもたちの体力の向上と, 生涯にわたって自らスポーツに親しむ資質を育む

④ 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした体力向上・競技力向上

小学生の体力向上, 中学・高校生の競技力向上のための取組を実施

⑤ 外部コーチ派遣など運動部活動指導体制の充実

専門的な知見を生かした指導体制を充実し, 運動部活動の更なる活性化を図るとともに, 教員の多忙化を解消する

新 部活動指導員の配置拡大[44,800]

<再掲1(2)⑥「学校における働き方改革」推進のための環境整備>

幼稚園等における保健指導の推進, 食物アレルギー対応に関する体制・連携推進など

(7) 子ども読書活動の推進(国語力・読解力向上総合推進事業) 201,706 (214,610)

<再掲「学習指導の充実」>

(8) 家庭の教育力向上サポート事業 19,496 (20,618)

[再掲2,310]

スマートフォン・インターネット不適切利用防止対策の推進

インターネット上の誹謗中傷や個人情報などの書込みの監視, 利用の危険性及び依存性について小中学生が主体的に課題を理解して自ら解決策を考え, 保護者の課題意識の向上及び家庭等での行動の支援にもつながる学習・啓発プログラムの実施, 子どもの携帯情報通信機器利用に関わる保護者向け・市民向けの啓発活動を展開

「おやじの会」活動の推進, 京都市PTAしんぶん など

(9) 各種健全育成事業 145,556 (150,423)

野外活動施設「花背山の家」運営, 野外教育センター「奥志摩みさきの家」運営など

3 高等学校教育の充実

541,963 (548,300)

市立高校改革の更なる推進・充実

541,963 (548,300)

～生徒の個性が輝く魅力あふれる高校づくり～

① 市立高校かがやきプラン

高校教育制度改革を踏まえた魅力あふれる高校づくりの推進に向けた取組

- ②市立高校ハイパークリエイティブプロジェクト
学校長の明確なビジョンの下、大学・研究機関・産業界との連携、各種講座の開設 など
- ③教育内容の充実
市立高校海外研修、進路指導の充実、高校コンソーシアム事業 など
- ④「政治的教養を育む教育学習指導案集」を活用した教育実践事業
本市独自の「政治的教養を育む教育学習指導案集」を活用し、体系的な取組を推進する
- 新**⑤教員用デジタル教科書の導入[1,500]
＜再掲1(2)⑥「学校における働き方改革」推進のための環境整備＞
- 新**⑥「新しい定時制単独高校」開校に向けた実践研究[3,900]
不登校生徒へのICT機器を活用した遠隔教育の研究、生徒の居場所づくりとしての学校内カフェの試行、スクールキャリアコンサルタントの配置
- ⑦「新しい普通科系高校」開校に向けた実践研究

4	幼児教育の振興 ～子育て支援施策の充実～	176,531 (180,797)
	市立幼稚園の教育内容の充実	176,531 (180,797)
	市立幼稚園全園での預かり保育実施 地域の子育て支援センター事業(地域に開かれた市立幼稚園)	
5	教育環境の整備充実	13,275,107 (14,272,093)
	(1) 学校新增改築事業	6,794,684 (9,170,450)
	①児童・生徒数の増加等に対応するための学校施設整備 西院小学校・呉竹総合支援学校における校舎等施設整備	
	②小中一貫教育校整備の推進、「新しい定時制単独高校」整備の推進、「新しい普通科系高校」整備の推進、銅駝美術工芸高校移転整備事業	
	(2) 環境にやさしい新しい学校づくり推進	1,379,900 (1,408,100)
	新 省資源・省エネルギーなど環境負荷低減を踏まえた環境に配慮した校舎の長寿命化事業実施 実施校数を拡大し、長寿命化改修を加速	
	(3) 学校体育館・プール等整備事業	2,217,600 (1,968,200)
	防災機能強化・長寿命化・環境に配慮した体育館及びプールの改築・リニューアル事業 の整備促進など	
	(4) 学校施設等の教育環境整備	2,847,923 (1,725,343)
	学校トイレの洋式化の一層の推進、普通教室等の空調機更新、ブロック塀の安全対策など	
	新 教育委員会所管施設の空調整備(花背山の家)[7,000]	
	新 青少年科学センター長寿命化改修に係る基本計画策定[10.780] 学校施設の長寿命化に向けた学校施設マネジメントの推進 「構造躯体の健全性」の把握に向けた基礎調査等の実施	
	(5) 教育委員会所管施設の耐震化推進	35,000 (0)
	新 災害時の避難所として指定されている学校歴史博物館の耐震補強改修を行う	

6 生涯学習の推進

2,184,962 (2,108,861)

(1) 各種生涯学習事業

112,862 (92,443)

生涯学習市民フォーラム、社会教育委員による出張講座「京まなびミーティング」の実施、
生涯学習パスポート「京まなびパスポート」、生涯学習情報検索システム「京まなびネット」の運営、
生涯学習アドバイザー、女性教育事業、温もりの電話相談事業、
学校コミュニティプラザ事業、障害のある市民のための講座、

新国際博物館会議(ICOM)京都大会開催[51,000]

大会記念イベント等の開催や市内博物館ネットワークの更なる充実

(2) 家庭の教育力向上サポート事業<再掲2「児童・生徒の健全育成」>

19,496 (20,618)

(3) 生涯学習総合センター・図書館運営

1,936,333 (1,917,669)

①生涯学習総合センター

古典の日記念事業「古典の祭典」や講演会の開催など生涯学習の拠点施設としての
生涯学習総合センター運営

②京都市図書館

市民の利用促進に向けた中央図書館4館・地域図書館14館など京都市図書館運営
子ども読書活動推進に向けた、出前事業専用車両(青い鳥号)による学校・園への出前事業の実施
中央図書館4館における7・8月の土曜日の開館時間延長(開館時間 17時まで→19時まで)
障害のある方々の更なる利便性向上

(4) 学校歴史博物館運営

26,549 (30,564)

新番組小学校創設150周年記念事業実施[6,600]

常設・企画展示、収蔵品の収集・保存・整理事業、調査・研究の充実、各種講座・体験教室開催 など

(5) 青少年科学センター市民科学事業

89,722 (32,839)

新①開館50周年記念事業[693]

開館50周年を記念した式典や特別講演会の開催、記念誌の作成等

②展示スペースリニューアル[10,000]

科学の原理・原則をふまえつつ、最新情報に基づく話題性、アピール性を重視した新規展示品を
整備するなどの展示スペースのリニューアルを実施

科学地球儀の展示<再掲1(10)④「京都宣言や「Do You Kyoto?」の精神を活かした取組の推進>

③企業・大学等と連携した特別展示

京都の最先端企業から提供を受けた展示品により、科学の原理・原則が実社会で有用に
されていることを体験できる特別展を開催するとともに、開催終了後の提供展示品を常設化

④未来のサイエンティスト養成事業

企業・大学等と連携した理科・科学好きな子どもたちの探究活動の場の創設

⑤京都科学屋台ネットワーク

京都市科学系博物館等連絡協議会(現在24施設)や「青少年と科学の会」との連携により、
各種の催しに向いて実験を披露するなど、楽しく科学を学べる機会を提供

⑥プラネタリウムリニューアル

最新の投映機等を導入し、美しい星空とリアルな映像空間を表現できるプラネタリウムに
リニューアル